

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1

協議会名：

上三川町地域公共交通会議

評価対象事業名：

地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関東交通株式会社	上三川町デマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> 町の広報やホームページでの周知方法を見直し、子どもでも乗れることなど、よく質問されることを分かりやすく周知した。 利用登録数は増加したが、利用人数は減少した。 (年間:59.5人/日⇒55.9人/日) 利用者実績を分析したところ、一定の固定客がいるが新規利用者が落ち込んでいることから、新たなターゲットとして小学生と、登録して利用していない高齢者に向けて施策実施し、利用者増を図る。 昨年度の実績から、利用が落ち込む夏季の利用増加対策として、小学生対象に8月末までの期間限定おたためし利用券を配布し、利用人数が増加した。 (7月:55.5人/日⇒58.4人/日) (8月:53.2人/日⇒54.8人/日) 	<p>A</p> <p>事業が計画的に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を一部達成できていない点があった。</p> <p>【未達項目】 目標:一日あたり75人分の移動手段を確保する。 ↓ 実績:一日あたり55.9人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広報やホームページでの一方的な周知だけでなく、各地域で開催されるイベントで時間をもらい、その場でデマンド交通利用に対する疑問や不安が解消できるように出張登録申請受付や出前講座を開催する。 利用者増加のために、登録方法を見直し、利用までのハードルを下げる策を検討する。 さらなる広告収入の確保により、収支率が向上させるため、今後も広告の確保に努める。 アンケート内容を見直し、利用者の意見をさらに深掘りすることで、より良い事業内容の見直しを行なう。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月26日

	協議会名： 上三川町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。</p> <p>今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。</p> <p>このようなか、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。</p>

平成29年度 上三川町地域公共交通会議（栃木県上三川町） （地域内ライダーシステム確保維持事業）

地域の公共交通の現況

本町は、下野市と接する行政界西側にJR宇都宮線が南北に縦断し、JR石橋駅が近接する。また、民間会社の路線バスが5路線存在する。平成27年度国勢調査（平成27年10月1日時点、確定値）の高齢化率は20.4%と栃木県内で最も低い。急速な少子高齢化の進展や人口の減少、マイカーの利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持継続が困難な状況が生じている。

事業の目的・必要性

マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。
今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。
このようなか、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。

事業の概要

地域公共交通を確保・維持する取り組みとして、町内に終点がある路線バスを「地域間幹線系統」として、これに接続させる形で事前予約型・区域運行のデマンド交通を運行している。

実証運行期間：平成25年3月1日～平成28年3月31日
本格運行：平成28年4月1日～

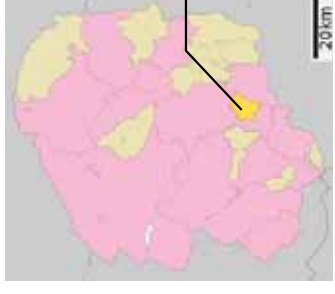
【デマンド交通「かみたん号」】（～平成28年3月31日）

事業者名：関東交通株式会社
運行区域：上三川町全域及び指定町外9施設
運行日：月曜～金曜（土日、祝日、年末年始運休）
運行時間帯：8時～17時
運行本数：9便／日（1時間1便）
運行車両：2台
運賃：大人（中学生以上）町内200円、町外300円
小学生 一律100円
未就学児 無料

【デマンド交通「かみたん号」】（平成28年4月1日～）

事業者名：関東交通株式会社
運行区域：上三川町全域及び指定町外9施設
運行日：月曜～金曜（土日、祝日、年末年始運休）
運行時間帯：8時～17時
運行本数：9便／日（1時間1便）
運行車両：3台
運賃：大人（中学生以上）町内300円、町外450円
小学生 一律150円
未就学児 無料

栃木県
上三川町



面積	54.39km ²	
人口（H30.1.1時点）	31,441人	
	15歳未満	4,432人
	65歳以上	6,875人
高齢化率	21.9%	
世帯数	11,654世帯	

協議会開催状況

上三川町地域公共交通会議の開催状況

- ・第1回（平成29年6月13日）
- （1）地域内ライダーシステム確保維持計画策定（平成30年度計画）
- （2）デマンド交通おためし利用券の導入について
- ・第2回（平成30年1月26日）
- （1）事業評価について
- （2）県内小学生向け副読本について

前回の事業評価結果の反映状況

○前回の事業評価結果に基づき、以下の点を事業に反映させた。

- ・町の広報やホームページでの周知方法を見直し、子どもでも乗れることなど、よく質問されることを分かりやすく周知した。
- ・利用登録数は増加したが、利用人数は減少した。
(年間:59.5人/日⇒55.9人/日)
- ・利用者実績を分析したところ、一定の固定客がいるが新規利用者が落ち込んでいることから、新たなターゲットとして小学生と、登録して利用していない高齢者に向けて施策実施し、利用者増を図る。
- ・昨年度の実績から、利用が落ち込む夏季の利用増加対策として、小学生対象に8月末までの期間限定おためし利用券を配布し、利用人数が増加した。
(7月:55.5人/日⇒58.4人/日)(8月:53.2人/日⇒54.8人/日)

定量的な目標・効果

【目標】

- ①高齢者等の通院のための移動手段を確保する。
- ②高齢者等の買い物のための移動手段を確保する。
- ③町内の地域公共交通サービスの平準化による交通不便地域を解消する。
- ④町内はもとより、隣接する市の病院や商業施設等への移動手段を確保する。
- ⑤一日あたり75人分の移動手段を確保する。

【効果】

本事業の実施により、次のような効果が期待できる。

- ①町民が広く「デマンド交通」を利用することによる公共交通の利用者数の増加と運賃収入の増加。
- ②自動車を利用出来ない高齢者等が必要とする公共交通サービスの継続的な提供。
- ③高齢者等の外出機会の増加と社会参加や交流の促進、並びに「引きこもり」の減少や身体的、精神的な健康の維持・増進。

目標効果の達成状況

【上三川町デマンド交通】

利用者数:13,635人 運行日数:244日 平均利用人数:55.9人/日(H28.10~H29.9)

- ・利用者数は、平成28年度59.5人/日から平成29年度55.9人/日に減り、目標の75人/日を達成できなかったが、月ベース・時間ベースで分析を行い、稼働率が悪い月や時間帯の活用方法を改善するため、ターゲットを絞った施策には一定の効果が見られた。
- ・実績データから分析すると、一定の固定客がいることから、自動車を利用できない高齢者等の通院や買い物のための交通手段を確保と交通不便地域の解消にもつながっている。

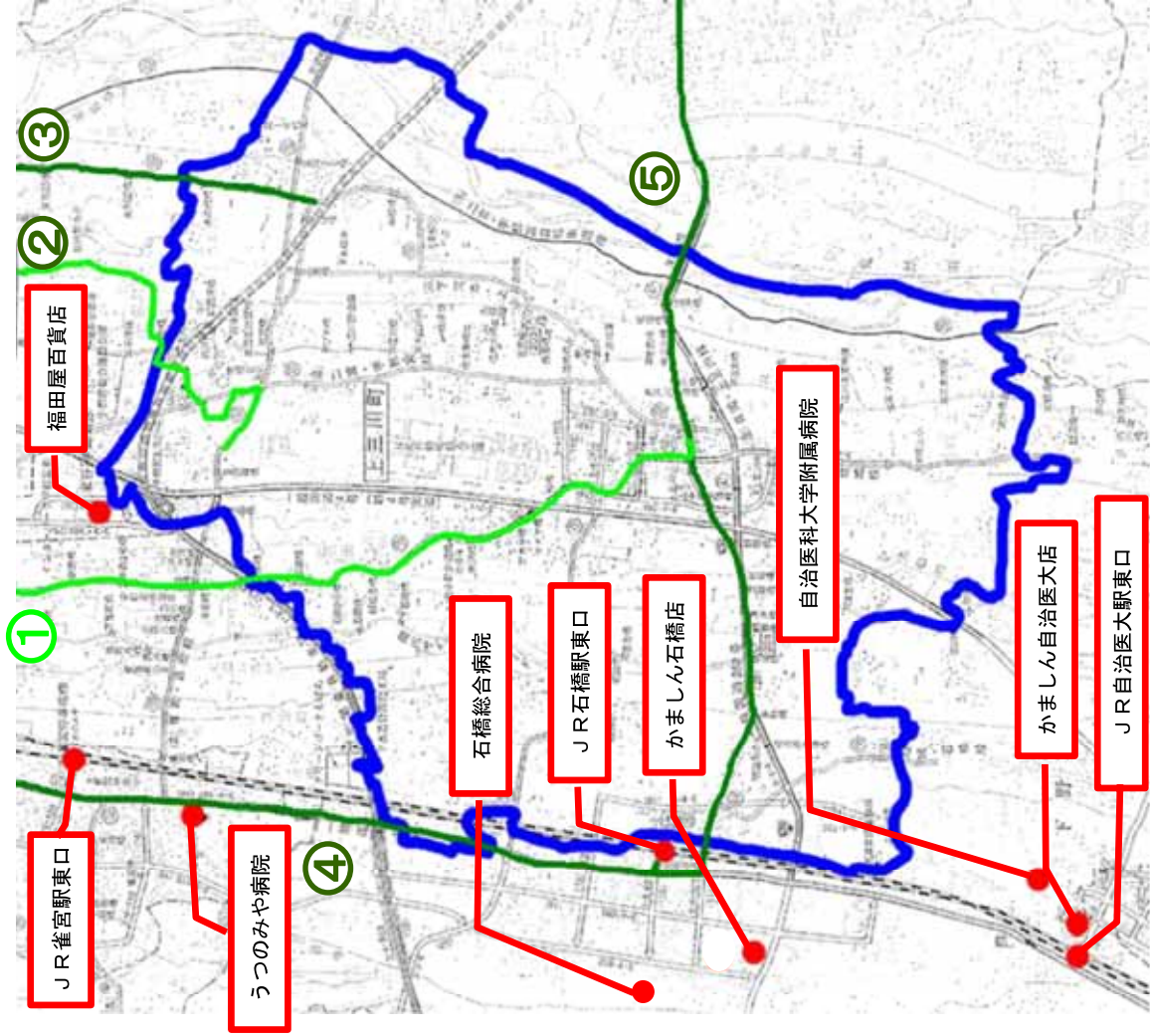
アピールポイント

- ・低廉な料金かつドア・トゥ・ドアのフルデマンドで運行することにより、高齢者等の経済的負担、移動の負担を軽減し、交通不便地域を解消している。
- ・町内全区域だけでなく、町民アンケートで要望の高かった町外の病院、駅、商業施設を運行区域に反映させており、移動の利便性を高めている。
- ・地域の企業が車内広告を掲載することにより、地域経済の活性化が期待できる。

今後の改善点

- ・広報やホームページでの一方的な周知だけでなく、各地域で開催されるイベントで時間をもらい、その場でデマンド交通利用に対する疑問や不安が解消できるよう出張登録申請受付や出前講座を開催する。
- ・利用者増加のために、登録方法を見直し、利用までのハードルを下げる策を検討する。
- ・さらなる広告収入の確保により、収支率が向上させるため、今後も広告の確保に努める。
- ・アンケート内容を見直し、利用者の意見をさらに深掘りすることで、より良い事業内容の見直しを行なう。

上三川町デマンド交通運行区域



【凡例】

- 行政区区域境 (区内を運行)
- 幹線系統 (国庫補助対象路線)
- ① 関東自動車 (駒生営業所～上三川車庫)
- ② 関東自動車 (駒生営業所～本郷台西汗)
- 幹線系統以外
- ③ 関東自動車 (駒生営業所～東汗)
- ④ 関東自動車 (JR宇都宮駅～JR石橋駅)
- ⑤ 関東自動車 (JR石橋駅～真岡車庫)

区間運行場所 (×9)

- うつのみや病院
- 石橋総合病院
- 自治医科大学付属病院
- 福田屋百貨店 (FKD) インターパーク店
- スーパーマーケットかましん石橋店
- スーパーマーケットかましん自治医大店
- JR 雀宮駅東口
- JR 石橋駅東口
- JR 自治医大駅東口

【利用実績】

H28.10	1,121人	H29.4	1,135人
H28.11	1,092人	H29.5	1,128人
H28.12	1,012人	H29.6	1,270人
H29.1	1,012人	H29.7	1,168人
H29.2	1,065人	H29.8	1,205人
H29.3	1,282人	H29.9	1,145人

合計 13,635人